

京都地下鉄整備(株)	平成30年度経営計画 兼 経営努力結果
------------	------------------------

基本事項

所管局課	交通局高速鉄道部営業課	本市出えん金	22,000 千円
基本財産/資本金	40,000 千円	本市出えん率	55.0 %

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」

方向性	存続	目標年度	-
-----	----	------	---

「今後の方向性」に向けた基本的方針

業務面	市営地下鉄の車両・施設・設備における保守管理や更新時の監理業務等を的確に遂行する。
財務面	監理業務等を的確に遂行することにより確実な受注を得るとともに、人件費を中心とした経費抑制に努め、安定的な経営を行う。
組織面	安定した人材確保に努めながら、管理部門の業務効率化により人員体制のスリム化を図る。
その他	特になし

当年度の取組目標に対する意見

所管局	人件費を中心とした経費抑制に努めるとともに、監理業務等を的確に遂行することで売上高を維持し、純損益金額の改善に向けて、取組を推進してもらいたい。
-----	--

当年度の「今後の方向性」の進捗状況及び各取組に対する総括(※)

団体	経費の抑制に努め、監理業務等を的確に遂行することができ、売上高・純損益金額共に目標値を上回る改善結果となった。今後も安定的な経営を目指していく。
所管局	平成30年度については、電気関係の修繕等は減少したものの、自然災害等の影響による建築設備などの被害補修の受注が増加したことや、東西線の全般・重要部検査の編成数の増加及びその他の管理業務における労務単価の上昇により委託料が増加したことにより当初予算と比べて黒字幅を拡大し、目標値を上回る結果となった。 引き続き、第2次中期経営計画に掲げる収支均衡の維持を達成できるよう、更なる経費削減と業務の受注拡大を進めてもらいたい。

京都地下鉄整備(株)	平成30年度経営計画 兼 経営努力結果
------------	------------------------

(1)業務に関する取組

目標「監理業務等の的確な遂行による安定的な経営」	
中期経営計画 における取組	市営地下鉄の車両・施設・設備における保守管理や更新時の監理業務等を的確に遂行し確実な受注を得ることにより、売上高の維持に努め、安定的な経営を行う。
当年度目標	現在実施している市営地下鉄の車両・施設・設備における保守監理業務等を的確に遂行することにより、安定的な経営を行う。
当年度結果 (※)	市営地下鉄の各種設備や車両の点検・整備などの保守監理業務を的確に遂行し、目標を上回る売上高となり、安定的な経営を行えた。

指標	売上高（安定した売上高の維持）				(単位：千円)			
	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
中期経営計画	-		233,000		233,000		233,000	
実績	見込	実績(※)	目標	実績(※)	目標	実績	目標	実績
	234,000	233,875	233,000	246,852	-		-	

(平成30年度単年度経営計画)

京都地下鉄整備(株)	平成30年度経営計画 兼 経営努力結果
------------	------------------------

(2)財務に関する取組

主要財務数値							(単位:千円)
	平成30年度		令和元年度		令和2年度		備考欄
	予算	実績(※)	予算	実績	予算	実績	
経常収益	233,050	246,900					※当社においては、貸借対照表を予算として作成していません。
経常費用	232,500	245,088					
当期経常増減額	550	1,812					
当期正味財産増減額	370	1,632					
資産合計	-	217,914					
負債合計	-	22,873					
正味財産	-	195,041					
うち累積損益額	-	183,841					

目標「安定的な経営」

中期経営計画 における取組	市営地下鉄の車両・施設・設備における保守管理や更新時の監理業務等の的確な遂行により売上高の維持を実現するとともに、業務効率化による組織のスリム化など人件費を中心とした経費抑制に努め、安定的な経営を行っていく。
当年度目標	監理業務等の的確な遂行により売上高を維持するとともに、できる限りの経費抑制に努め、純損益金額の改善を図る。
当年度結果 (※)	平成30年度については、電力供給会社の変更やリース契約の見直しなど経費の抑制に努めたことや、売上高を増加できたこと等により、目標値を上回って純損益金額を大幅に改善することができた。

指標	決算における当期純損益金額の改善 (収支均衡の維持)							
	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
中期経営計画	0		370		770		770	
実績	見込	実績(※)	目標	実績(※)	目標	実績	目標	実績
	△400	△561	370	1,632	-		-	

京都地下鉄整備(株)	平成30年度経営計画 兼 経営努力結果
------------	------------------------

(3)組織に関する取組

目標「安定した人材確保と人員体制の見直し」	
中期経営計画 における取組	<p>京都市交通局の0B等の経験豊富な社員を、比較的安価な人件費で雇用し、京都市営地下鉄の車両や設備の保守点検における作業監理業務などを行ってきた。</p> <p>今後、適正な人員配置・効率的な業務運営により、組織のスリム化を図っていく。なお、計画期間中には、管理部門の業務効率化による人員減（1名減）を平成32年度に実施する予定である。</p> <p>人材確保については、鉄道の保守業務という特殊な業務であり、安全な運行を維持するため、質の高い人材を安定的に確保できるよう努める。</p>
当年度目標	<p>交通局や民間会社等と連携し、安定的な人材確保に努める。</p> <p>また、中期経営計画期間中に予定している管理部門の業務効率化における課題の抽出に着手する。</p>
当年度結果 (※)	<p>交通局や民間会社との連携により、必要な人材を確保することができた。また、管理部門のスリム化に向けた課題の抽出とその整理に取り組んだ。</p>

指標	人員体制の見直し（管理部門のスリム化）							
	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
中期経営計画	42		43		43		42	
実績	見込	実績(※)	目標	実績(※)	目標	実績	目標	実績
	43	43	43	43	-		-	